

プレスリリース

展覧会

猪熊弦一郎展 丸亀とともに  
—香川県立丸亀高等学校所蔵作品を中心に

2013年11月16日(土) - 2014年2月16日(日)

休館：2013年12月25日(水) - 31日(火)

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

お問い合わせ及び資料のご請求先：  
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
公益財団法人ミモカ美術振興財団  
担当＝畑井恵、古野華奈子

〒763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1  
tel:0877-24-7755  
fax:0877-24-7766  
<http://www.mimoca.org/ja/press/>

## 【展覧会概要】

展覧会名： 猪熊弦一郎展 丸亀とともに ―香川県立丸亀高等学校所蔵作品を中心に  
会 場： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 展示室A  
会 期： 2013年11月16日(土)―2014年2月16日(日) 休館：12月25日(水)―31日(火)  
開館時間： 10時―18時(最終入館17時30分)  
主 催： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団  
協 力： 香川県立丸亀高等学校、丸亀高等学校同窓会  
観覧料金： 一般950円 [760円] 大学生650円 [520円] 高校生以下または18歳未満・丸亀  
市内在住の65歳以上・各種障害者手帳お持ちの方は無料  
[ ]内は前売り及び20名以上の団体料金  
同時開催企画展「猪熊弦一郎展 新しい美―抽象の探求」及び常設展観覧料を含む  
\*11月23日(金・祝)は開館記念日のため観覧無料。  
\*12月20日はコンサート準備のため常設展は観覧無料。ただし15:00-18:00はご覧いただけません。  
\*丸亀高等学校卒業生を対象に観覧料の割引がございます(一般・大学生とも/協力：丸亀高等学校同窓会)詳しくは美術館受付にてお問い合わせください。

前売券販売場所：

[丸亀] あーとらんどギャラリー (0877-24-0927) オークラホテル丸亀 (23-2222) おみやげ  
SHOP ミュー (22-2400) きままや (22-9361)

**\*本展は「猪熊弦一郎展 新しい美―抽象の探求」と同時開催いたします**

## 【展覧会趣旨】

猪熊弦一郎(1902-1993)は、1921年に香川県立丸亀中学校(現 香川県立丸亀高等学校)を卒業後、東京美術学校(現 東京藝術大学)に進学しました。美校在学中の1926年に帝国美術院第7回美術展覧会に初入選し、以後、第10回(1929年)、第14回(1933年)で特選となるなど、早くから画家としての才覚を発揮します。

1933年、丸亀中学校創立四十周年を記念して描いた《妙義山》は、白川一郎の《犬吠埼》とともに同校講堂に展示され、長く後輩達から親しまれてきました。その後も猪熊は、《コレヒドール(壮絶なる風景)》(1942年)、《ENTRANCE》(1964年)、《地図でない地図B》(1978年)、など、作品を継続的に同校へと寄贈しました。また、創立記念事業に合わせて二度の講演をおこなうなど、母校とのつながりを大切にしていたことがうかがえます。

当美術館設立によせて「少年時代を過ごした、思い出深い丸亀の地」という言葉を残しているように、丸亀での出来事や人々との出会いは、画家・猪熊弦一郎の一つの原点となりました。丸亀高等学校創立百二十周年を迎える年に開催する本展は、猪熊と母校とのかかわりに注目し、その画業をご紹介します。白川一郎作《犬吠埼》と対をなし、「山と海」として知られる猪熊の大作《妙義山》をはじめとして、丸亀高等学校所蔵の猪熊作品を一挙公開。さらに、これまでご紹介の機会が少なかった十代の頃の作品も多数出品します。

※出品作品例の広報用画像をご希望の際は、データにてお送りいたしますので、当館ウェブ上のプレス用ページ(<http://www.mimoca.org/ja/press/>)よりお申し込みください。なお、著作権の都合上、画像をご掲載の際は必ずクレジット等のご記載もあわせてお願い申し上げます。

## [トピックス]

### 1. 丸亀高校所蔵の猪熊作品を一挙公開！

大作《妙義山》をはじめとして、丸亀高校の所蔵する猪熊作品が MIMOCA に集結。初期から晩年に至るまで、継続的に寄贈された作品をご覧いただけます。中でも、かつて旧制丸亀中学校の講堂にあった「山と海」の対峙は必見です。

### 2. 猪熊の丸中時代の作品も多数ご紹介します。

子どもの頃から絵が上手く、小学校の高学年には先生の代わりに絵を教えることもあった猪熊。丸中時代に描いたデッサンが図画の先生に認められ、図画教室に次々と飾ってもらったところ、教室中が猪熊のデッサンで埋まったといいます。これまでご紹介の機会が少なかったこの時代の作品も、当時のエピソードとともに多数ご紹介します。

### 3. 丸亀高校協力のもと、様々な関連プログラムを実施します。

本展関連企画として、香川県立丸亀高等学校の教員・生徒の皆様と協働し、様々なプログラムを企画・実施します。丸高生によるギャラリー・トークや展覧会ガイドの作成、展覧会関連スイーツの共同開発、美術館施設を活用したパフォーマンス・デーの企画など、内容盛りだくさんです。

## [関連プログラム]

### ■ 丸高×MIMOCA プロジェクト

本展関連企画として、香川県立丸亀高等学校（以下 丸高）の生徒の皆様と協働し、様々なプログラムを実施します。各プログラムの詳細が決まり次第、当館ウェブサイトにてお知らせします。

(URL: <http://www.mimoca.org/ja/events/2014/01/04/981/>)

#### 1. 丸高スチューデントズ・トーク

丸高生が、展示室にて展覧会の見どころをお話しします。

参加料：無料（ただし展覧会チケットが必要です）

#### 2. 丸高生によるガイド作成

丸高生が、展覧会や美術館のおすすめポイントなどを紹介する内容のガイドを作成。館内にて無料で配布します。

#### 3. 展覧会関連スイーツ共同開発

丸高生とカフェレスト MIMOCA が、展覧会関連の限定スイーツを共同して企画開発します。完成したスイーツは、美術館3階カフェレスト MIMOCA にて販売します。

#### 4. 丸高生パフォーマンス・デー

日時：2014年1月26日(日)（午後を予定）

場所：1階ゲートプラザ・2階造形スタジオ・2階ミュージアムホール（予定）

美術館各所で丸高生によるパフォーマンスが繰り広げられるスペシャルな1日です。

## ■ キュレーターズ・トーク

本展担当キュレーター（畑井恵）が展示室にて展覧会の見どころをお話しします。

日時：会期中の第2、第4日曜日 各日 14:00－ （丸高スチューデントズ・トーク開催日を除く）

11月17日（日）・2月16日（日） 各日 15:00－

参加料：無料（ただし展覧会チケットが必要です）

申込：不要（美術館1階受付前にお集まりください）

## 〔作家略歴〕

### 猪熊弦一郎 / Genichiro Inokuma

- 1902 香川県高松市生まれ。少年時代を香川県で過ごす。
- 1909 丸亀城北小学校に入学。
- 1916 香川県立旧制丸亀中学校（現 香川県立丸亀高等学校）に入学。
- 1921 旧制丸亀中学校を卒業。
- 1922 東京美術学校（現 東京藝術大学）西洋画科に進学。藤島武二教室で学ぶ。
- 1926 帝国美術院第7回美術展覧会に《婦人像》で初入選。
- 1929 第10回帝展で特選。
- 1933 第14回帝展で2度目の特選。以後、帝展無鑑査となる。  
丸中創立四十周年を記念して《妙義山》を制作。白川一郎の《犬吠埼》とともに同校講堂に展示され、「山と海」として後輩達に親しまれる。
- 1936 志を同じくする伊勢正義、内田巖、小磯良平、佐藤敬、三田康、中西利雄、脇田和、鈴木誠と新制作派協会（現 新制作協会）を結成。以後、発表の舞台とする。
- 1938 フランスに遊学（1940年まで）。アンリ・マティスに学ぶ。
- 1942 従軍画家として派遣されたフィリピンで《コレヒドール（壮絶なる風景）》を制作。翌年、旧制丸亀中学校に寄贈。
- 1950 三越の包装紙「華ひらく」をデザインする。
- 1951 上野駅中央ホール壁画《自由》を制作。
- 1955 再度パリでの勉強を目指し日本を発つが、途中滞在したニューヨークに惹かれそのまま留まることとし、約20年間同地で制作する。直線と円を中心とした幾何学的な作品を多数制作。
- 1969 《ENTRANCE》を丸亀高校（以下 丸高）に寄贈。
- 1973 日本に一時帰国中、病に倒れる。
- 1975 ニューヨークのアトリエを引き払う。その後、冬の間をハワイで、その他の季節は東京で制作するようになる。ハワイの太陽と自然に接し、鮮やかな色彩と不定形の複雑な形があふれる絵画を描く。
- 1981 《都市の中の青い太陽》を制作、丸高に寄贈。
- 1982 《地図でない地図B》を丸高に寄贈。丸高に、これまでの寄贈作品を展示するスペース「猪熊コーナー」ができる。
- 1983 《美しき隣人》を制作。丸高創立九十周年記念作品として寄贈。作品の複製が記念品となる。
- 1987 丸高図書館の新築にあたり、壁画《風車と太陽》を制作。
- 1988 最愛の文子夫人が亡くなる。顔を面白い形の集合体といい、顔の連作を始める。  
《顔27》を制作、丸高に寄贈。  
香川県県民ホール壁画《21世紀に贈るメッセージ》を制作。
- 1989 丸亀市へ作品1000点を寄贈。
- 1990 《太陽馬》を制作、丸高に寄贈。丸高の甲子園出場メモリアルアルバム表紙原画となる。
- 1991 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館が開館する。
- 1992 所有するすべての作品などを丸亀市に寄贈する趣旨の文書提出。  
以降、順次丸亀市猪熊弦一郎現代美術館に搬入。
- 1993 丸高創立九十周年記念式において、1969年に寄贈された《ENTRANCE》をもとにデザインした記念タペストリーが作成される。  
東京にて逝去。90歳。

## **[展覧会等のお知らせ]**

### **■ 同時開催展**

企画展：猪熊弦一郎展 新しい美－抽象の探求（展示室C）

常設展：猪熊弦一郎展 うつくしい からだ（展示室B）

会期：2013年11月16日（土）－2014年2月16日（日） 休館：12月25日（水）－31日（火）

\*11月23日（金・祝）は開館記念日のため観覧無料

\*12月20日はコンサート準備のため常設展は観覧無料。ただし15：00－18：00はご覧いただけません。

### **■ 次回開催企画展**

あそびのつくりかた（仮称）

2014年3月1日（土）－5月25日（日）（予定） 会期中無休